

# 松戸ロータリークラブ

【2010-11年度国際ロータリーテーマ】

地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities,  
Bridging Continents

[第2648回例会]

会 報

No.2647

2010年9月29日 発行

●四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

●THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?



地域を育み、大陸をつなぐ

本日のプログラム

2010年9月29日(水)

卓 話

「ロータリーに入会して」

加瀬 仁 会員

次回のプログラム

2010年10月6日(水)

卓 話

「職業奉仕について」

土屋亮平 会員

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム  
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F  
TEL: 047-366-2266  
FAX: 047-361-2255  
URL: matsudo-rc.com  
E-mail: info@matsudo-rc.com

- 会 長 伊原 清良
- 会長エクト 常盤 映彦
- 副 会 長 加藤 栄
- 幹 事 松田 茂一
- 会 計 加瀬 仁
- 会報委員 松本 幸夫 申 澈権 太田原慎一  
山田 達郎 澤田 正宏 土肥伸一郎  
加瀬 仁 車田 善教 浅井 利明  
三国 大吾

# 「環境について」

環境委員会

小林孝数 委員長



卓話の機会を与えて戴き有難うございました。

さて、今回は松戸RCに新しく出来た組織である環境委員会の委員長として「環境について」話しますが、3部作になっております。

第1部は、織田吉郎ガバナーの考えている「環境について」の概要。

第2部は、2010年7月10日実施された地区社会奉仕委員会セミナー（環境フォーラム）の概要。

第3部は、環境哲学について、であります。

その他、「他RCの環境に関する活動実績」については、今後3分卓話等で紹介していきたいと考えております。

## 第1部 織田吉郎ガバナーの考えている「環境について」の概要

江戸末期、日本の人口は3,500万人であったが、現在は約1億2,700万人になりました。世界の人口は、現在は68億人であり、産業革命以降に爆発的に増加しました。

人口の増加と安い化石燃料の供給が、エネルギー消費の増加を招き、それに伴う温暖化などの問題が発生しました。

また、貧富の拡大、食料不足、水不足などにより、病死、餓死の問題も発生しました。

ロータリー活動では、国境がなく実施できます。今後RCで活動計画を作り実施する場合には「環境」というフィルターを掛けて計画して欲しいこと。また、2010 - 2011年度では、環境の「哲学」と「知恵」について、RC内に持ち込んで、会員の知識向上を図って欲しいことなどの要望が出されました。

## 第2部 環境フォーラム

7月10日にフローラ西船で地区社会奉仕委員会セミナーが開催されました。（環境委員会関係以外は省略）

織田ガバナー挨拶の後、基調講演はRI公共イメージ支援グループエリアコーディネーター・京都伏見RCの岡田久雄会員による「ロータリーが環境問題に取り組む際に考えるべきこと」でありました。

ロータリーは世界的な組織で、何かを実行するに足る資産も人材も備えた政権政党的な立場の団体です。ですから、ロータリーが環境問題に取り組むときに「何を、どのような方法で実行するか」を表明する際には、単なる希望的観測や思い付きではなく、なぜそれが必要なのかの具体的なデータ、実行する際に必要な条件、それを実施し

た場合に起こり得るかもしれない問題点など十分考慮しなければなりません。

また、人口問題は環境関係者で重要であることを良く知っている。では人口を減少できるか？宗教、地区の価値観、正義、ファミリーなどの強い影響があり、評論者なら言えるが、実行者になると、2、3段考えなければならない。RCがやるからには責任を持ってやる覚悟がいる。

RCがWCSで他の国とやることは、相手のことを良く調べてから実施した方が良い。国際的にやることは慎重にすべきである。RCが環境を考える時も配慮すべきである。など話されました。

## 環境フォーラム「温暖化防止とロータリー」パネリスト

堀 達哉（千葉大学環境デザイン研究室特任教員）

小笹哲哉（カーデザイナー・自動車会社勤務）

吉田政紀（地区環境委員長・館山RC）

## コーディネーター

二神典子（ロータリーの友編集長・東京築地RC）

内容については、小笹氏は、「環境問題と自動車の未来」に関わることを主体に話され、電気自動車为中心な話題であった。堀氏は専門の都市工学の立場から都市のコンパクト化、車依存から公共交通依存へ、電気やガスの供給を一元化するスマート・グリッドについて、都市計画の投資額が欧米に比べて日本は少ないことなど。吉田氏は、環境に関しては人口問題が必要であることなど。二神氏は2004年にノーベル平和賞を受賞されたケニアの環境副大臣ワンガリ・マータイさんが提唱された「もったいない運動」やオール電化マンション増加で電力供給の不安など。

雑感として、基調講演で、岡田氏の話から環境問題に関する計画を策定する時に十分検討するように示唆され、難しいことであるが有意義な話しでありました。

環境フォーラムは、ロータリーに何を訴え、何をさせたいのか今ひとつポイントがはっきりしないこと。

都市工学の立場で環境問題を話しても、それをどのようにRCの活動とリンクさせるか難しいこと。

エネルギー産業に携わってきた者の個人的な意見として、CO<sub>2</sub>削減に電気自動車が大きな効果をもたらすとは疑問に思っていること。

などなどかんじました。

## 第3部 環境哲学

環境哲学については、難しい哲学のことであり、私自身が理解できるようにやさしく、かつ簡略化しました。

はじめに、環境に関わる思想では、環境倫理学があります。環境倫理学では「人間中心主義か自然中心主義か」、「自然の固有の価値」・「自然の権利」などが論じられた。法律のような外的な強制力を持たない特徴があります。

環境倫理学については、3つのポイントがあり、

自然の生存権の権利

人間だけでなく、生物の種、生態系、景観など。

世代間倫理の問題

現代世は、未来世代（未来世代とは誰を対象にしているかということ）の生存可能性に対する責任がある。

地球全体主義

地球の生態系は開いた宇宙ではなくて閉じた世界である。

と言われております。

環境哲学とは、フリー百科事典（Wikipedia）によると、「自然環境やそれに関する問題（環境問題）を扱う哲学の1分野である。人間と自然（自然環境）との関係、人間が自然に対して行う行為の責任やそれに対して自然が持つ権利、自然の価値といったことを論じながら、最終的には人間と自然がどのようなかたちで環境問題を解決していくべきか、という事を考える。

倫理学の1分野として始まった環境倫理学が論じられていくうちに、環境問題が社会問題化して全人類共通の課題として考えるようになり、存在論、認識論、社会哲学の面からのアプローチが加わって発展し始まった哲学である。」

また、環境哲学のテーマについて、アンドリュ

ー・ブレナンは

- ・ 自然とは何か、その対象と過程はどこまでなのか。
- ・ 人間のライフスタイル（生活条件）や行為を説明付ける、人間の存在の形とはどういうものか。
- ・ 自然や人間のライフスタイルの価値論。人間の行為の評価。
- ・ 上記を説明する主張がどのような基準で試行されるべきか（方法論）。

と言っております。

長い人類史から見れば人間が、自然を支配し、摂取するといった人間の態度が大きくなってきたのは、江戸末期からであります。こういった態度を克服し、人間と自然の共生を可能にする新たな文明を展開するためには、新たな哲学思想が求められています。

「人間とは何か」という問題を考えていただききっかけになりましたら幸いに存じます。難しい話になり恐縮しております。ご清聴有難うございました。

第2647回例会

## 例 会 報 告

2010年9月15日

### 会 長 挨拶



伊原清良 会長

松戸北ロータリークラブの小林弘様、児山守治様、高橋一彦様、大川隆永様、松戸西ロータリークラブの小菅寿和様ようこそ、お越しく下さいました。松戸北ロータリーク

ラブは以前よりの芋掘りに加えて最近は、「わくわく探検隊」と称する青少年に対して歴史的に由緒ある小金の町を再発見させるという、尊敬すべき活動を展開されていると会長幹事会の席でお伺いいたしました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。

本日例会後の職業奉仕研修会は、1ヶ月後の10月15日に実施される分区の情報研究会テーマ「私たちは何故週一度ロータリーに集うのか」を勉強いたします。職業奉仕研修会へは、義務感を持つ必要は全くありません。出られる人だけで続けてまいりたいと考えています。昨年度のCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)は職業奉仕の理念を後退させる感覚でした。それに対しての職業奉仕研修会は本年度の松戸ロータリークラブでの、ある意味で看板委員会であります。但し11月以降の方法論については、どうか仲良く委員会でお話頂ければと思います。谷沢健一氏が「強いチームとは、若手からベテランまでがバランスよく混在し、調和している チームだ。いかに若手を

育成できているかがカギとなる。」言っています。

定年退職を迎える大学教授が「最終講義」をやるそうです。家族はもちろん、教え子たちが全国各地から遠くは海外からも一同に集まり、一期一会だからこそ心の琴線が触れ合う感動的な、話し手と聞き手が作り出す伝説の講義になるそうです。私の友人に田中忠行会員と同じ年齢の永澤茂雄さんがいます。彼の父親は明治生まれで千葉大学の園芸学部の名物教授でした。当時の彼は父親の最終講義が何たるかを良くわからず行かなかったそうです。彼以外の4人の兄弟は皆参加したそうです。後悔しても始まらないことですが、私の妻の父親も北海道大学の獣医学部の教授でしたが最終講義には行けませんでした。妻の姉と母親は参加しました。多分、父親は私の妻にも聴いて欲しかったのだと思います。もしもタイムスリップが許されるのであれば私も是非とも義理のオヤジの最終講義を義理のムスコとして聴いてみたいと思います。

ロータリー精神とは、他人に対してはできうる限り相手の身になって考え、行動しなければならないと感じています。本日のテーマの「環境について」はこの考え方を更に、進歩拡大させ、地球の身になって考え、行動していくという高邁な哲学さえ感じられます。

柏ロータリークラブ創立50周年記念事業のテーマは「地球環境の保全」です。

この度の祝賀会では地球環境の保全を考えて、吉野杉の間伐材を使用した箸を用意させて

頂きました。吉野杉は50年生き二酸化炭素を吸収しております。このような森を作るには、間伐して森に光を入れることにより元気な木が育ちます。地球温暖化の阻止に繋がりますので皆様のご協力をお願いいたします。

創立50周年記念事業実行委員会

確かに、「地球が悲鳴を上げている。」のだと思います。環境問題は、守備範囲が広すぎます。

その歴史をたどれば 文明の進歩・森林伐採による砂漠化、産業革命・工業化社会の到来、大気汚染・水質汚染、温暖化、過密・騒音などがあります。環境委員会の新委員長にご就任頂いた、小林孝数会員は長く東京ガスに勤務されてから、千葉ガスの社長をなさった方です。

**雑感** 本日の卓話をお聞きして、私の会社の商品で生パン粉と乾燥パン粉とがあります。保存方法でどちらがエコロジーかと問われれば、水分が少ない乾物としての乾燥パン粉に軍配が上がると思いましたが、おいしいけれど生パン粉は、冷凍や冷蔵設備があるし、常温保存できる無酸素包装にはそれなりの厚手の袋や脱酸素剤などが必要となります。利益のとれる生パン粉ばかり、拡販しようと思った時期がありましたが「地球にやさしい」というエコロジーの観点で考えれば多少、利益が薄くとも乾燥パン粉も重要な品目だと思いました。

5. その他報告  
特にございません。

## 例会報告

### [ 例会写真 ]

5名のお客様が  
例会に出席して  
下さいました。



### [ 出席報告 ]

|       |         |         |
|-------|---------|---------|
| 会員53名 | 義務会員44名 | 免除会員 9名 |
| 出席41名 | 義務会員35名 | 免除会員 6名 |
| 欠席12名 | 義務会員 9名 | 免除会員 3名 |

### [ 欠席者 ]

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 鎌倉 康裕君 | 常盤 映彦君 | 島村 善行君 |
| 小川 一君  | 小林 登君  | 奥村 祐二君 |
| 田原 晨暁君 | 中田智次郎君 | 土肥伸一郎君 |

### [ M U ]

|        |         |       |
|--------|---------|-------|
| 土肥伸一郎君 | 鎌ヶ谷 R C | 9月2日  |
| 林 希一君  | 松戸東 R C | 9月10日 |

本日出席率 82.0%  
先々週出席率修正 86.0% 88.0%

### [ お客様 ]

|        |         |
|--------|---------|
| 児山 守治様 | 松戸北 R C |
| 小林 弘様  | 松戸北 R C |
| 高橋 一彦様 | 松戸北 R C |
| 大川 隆永様 | 松戸北 R C |
| 小菅 壽和様 | 松戸西 R C |

## 幹事報告

松田茂一 幹事



1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内  
来週の例会は休会となります。
2. 外部からの会議・連絡事項等の案内  
特にございません。

3. 他クラブ会報・その他  
活動計画書と会報が流山中央 R C より、会報が柏 R C より届いています。

### 4 例会変更の連絡

柏 R C

- ・ 9月29日 の例会は50周年記念旅行に変更  
日程 9月26日 ~ 27日  
場所 湯河原温泉「山翠桜」

松戸北 R C

- ・ 9月28日 の例会は移動例会に変更「写経の会」  
点鐘 12:30  
場所 東漸寺 松戸市小金359
- ・ 10月12日 の例会は10月15日 の第12分区のロータリー情報研究会に振替  
テーマ「私たちは何故週一度ロータリーに集うのか」  
点鐘 14:00  
場所 松戸市商工会議所

## ニコニコBOX

松戸北 R C 小林 弘様 /  
本日、松戸北ロータリークラブ入会年数の浅い会員と共に勉強方々、メイクアップに参りました。よろしく願い申し上げます。

|         |            |              |
|---------|------------|--------------|
| ニコニコBOX | 当日 ¥ 5,000 | 累計 ¥ 305,000 |
|---------|------------|--------------|

|        |            |             |
|--------|------------|-------------|
| 財 団BOX | 当日 ¥ 3,800 | 累計 ¥ 45,903 |
|--------|------------|-------------|

文責 / 車田